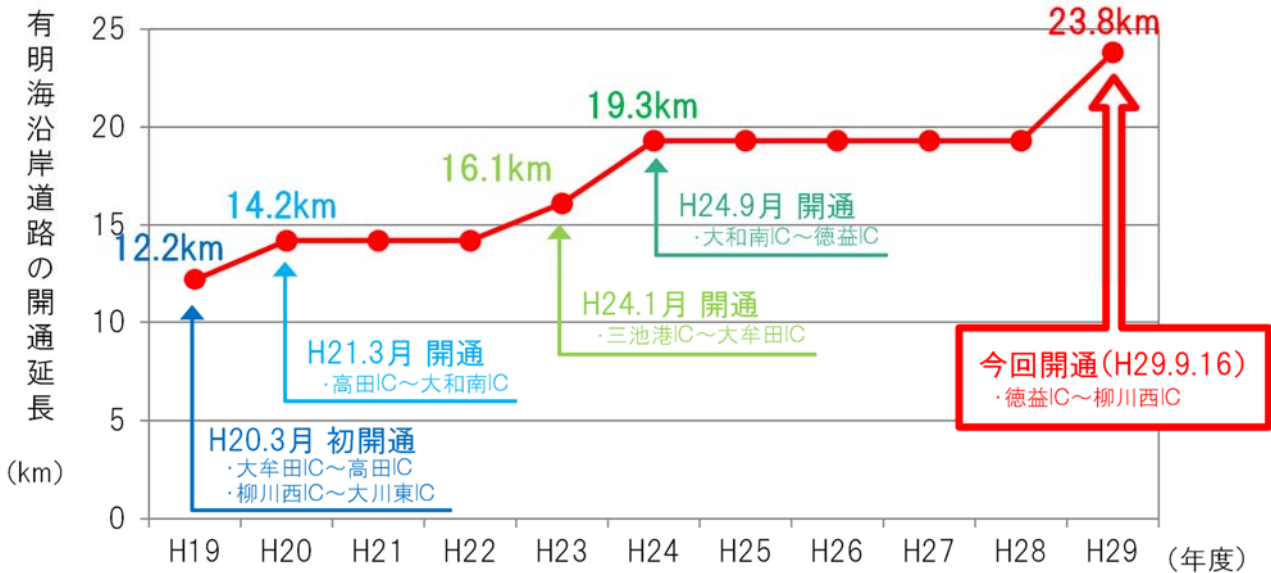
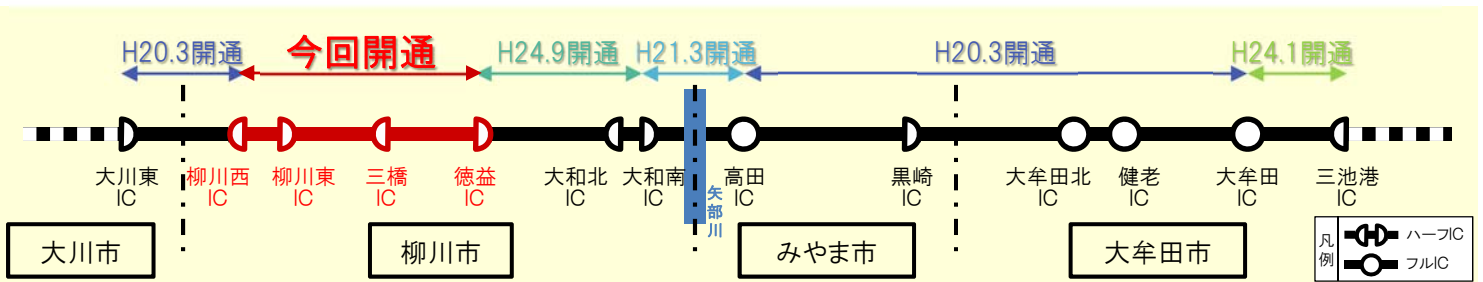


有明海沿岸道路 徳益IC～柳川西IC H29.9.16開通



初開通から10年目 沿線4市が高速で直結

有明海沿岸道路 徳益IC～柳川西IC(延長4.5km)が平成29年9月16日(土)に開通します。今回の開通により、平成20年3月の初開通から10年目にして、大牟田市の三池港ICから大川市の大川東ICまでが自動車専用道路(全延長23.8km)により直結します。



早くそして、着実に



517mの美しい斜張橋は有明海沿岸道路の象徴（矢部川大橋）

集中投資と安全施工により、早期の開通を実現

昭和63年度の事業化後、関係者の力強い支援、地元の皆様の協力を得ながら、事業への集中投資や安全な施工により、これまで19.3kmが開通しています。



軟弱地盤の試験盛土を開始
(大牟田市昭和開・平成13年)



諏訪川橋のアーチ部が併合
(平成22年5月)



三橋高架橋の下部工完成
(平成27年4月)



徳益高架橋での橋げたの送出し架設
(西鉄大牟田線上・平成28年5月)

地域の方々に 支えられて



橋の上で沿線小学校による「床版お絵書き大会」
(平成29年6月)

地域の協力・支援を頂きながら、工事を推進

徳益IC～柳川西IC間の工事に際し、地域の方々のご理解とご協力により、工事が円滑に進んでいます。各種イベントにも大勢の方に参加頂きました。



夜間全面通行止により最後の橋げた架設
(国道208号徳益交差点・平成28年11月)



親子見学会で徳益高架橋のボルト締め体験
(平成28年8月)



矢ヶ部小学校の6年生が柳川高架橋の
現場を見学(平成26年9月)



高所作業車による現場見学会を開催
(平成26年9月)

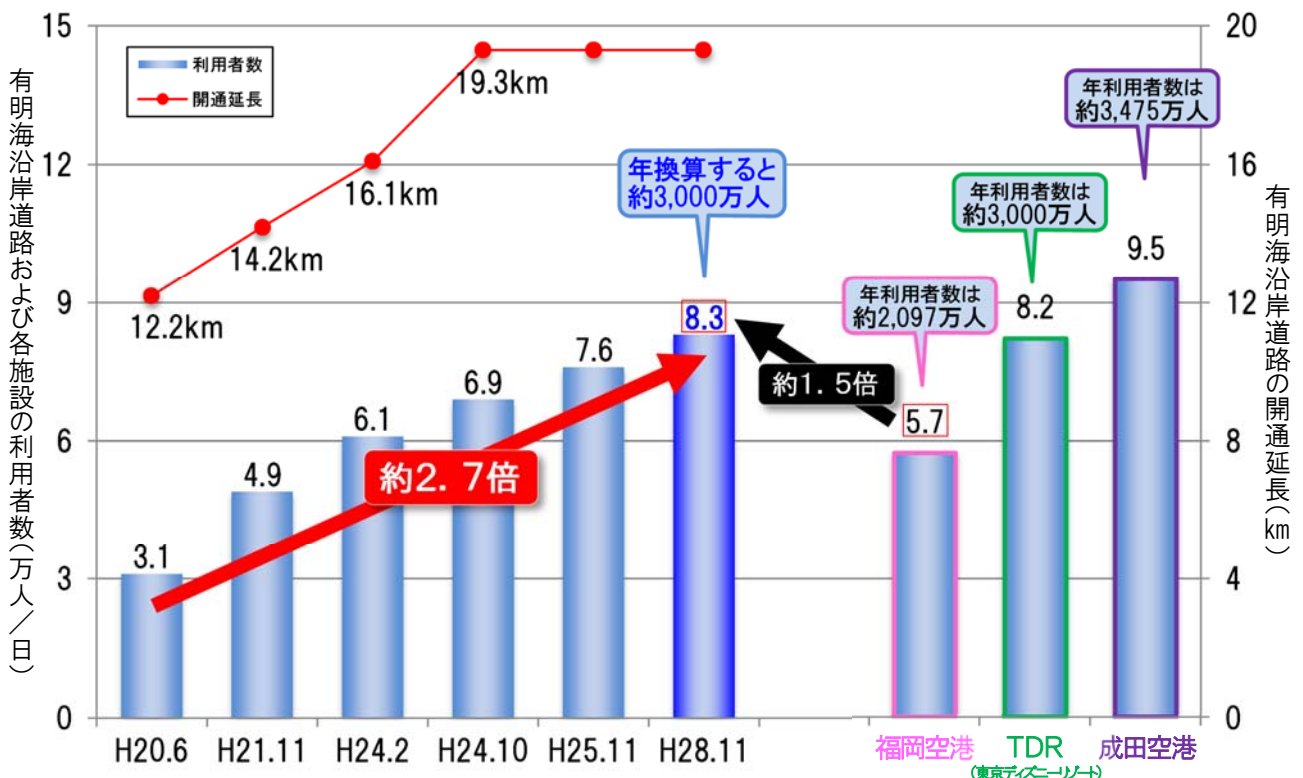
利用者数が 大幅増



大牟田北ICより健昭橋(健老IC方向)を望む

1日あたり約8万3千人が日々利用する大幹線道路

平成20年3月の初開通以降、利用者は大幅に増加し、9年後の現在では1日あたり約8万3千人が利用しています。年換算すると約3,000万人。これは、福岡空港の年間利用者数(約2,097万人/年)*の約1.5倍にあたります。



■有明海沿岸道路の利用者数と開通延長の推移、その他主要施設の利用者数(比較参考)

※出典:国土交通省航空局(空港管理状況、H27年空港別順位表より)

※有明海沿岸道路の利用者数=走行台数(実測)(日/台)×平均乗車人員(人/台)、平均乗車人員(国土交通省H22自動車利用特性マスターデータより)

※主要各施設の利用者数=年(年度)利用者数(人)÷365(日)、各施設の利用者数<国土交通省航空局(空港管理状況、H27年空港別順位表より)、

株式会社オリエンタルランド(ニュースリリース:東京ディズニーランド・東京ディズニーシー 2016年度入園者数(速報)より)

より安全でより快適に



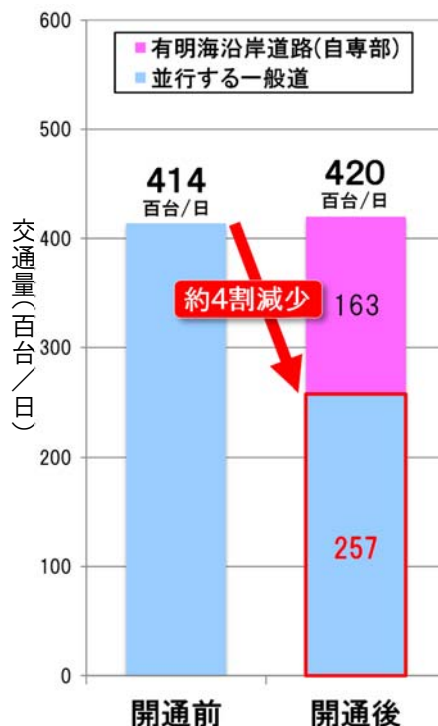
国道208号(みやま市下楠田)

並行する一般道の交通が4割減少。死傷事故件数が2割減少。

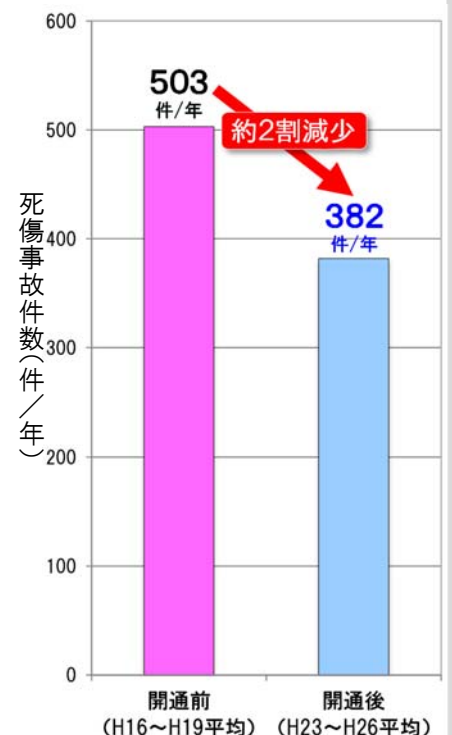
これまでの開通では、並行する一般道の交通が有明海沿岸道路に転換することにより渋滞が緩和するとともに、死傷事故件数も減少しています。今回の開通により、並行する幹線道路や生活道路がより安全で快適になることが期待されます。



■ 交通状況の変化(比較断面の位置図)



■ 有明海沿岸道路と並行一般道路の交通分担の変化



■ 並行する国道208号の沿線市町村における死傷事故件数の変化

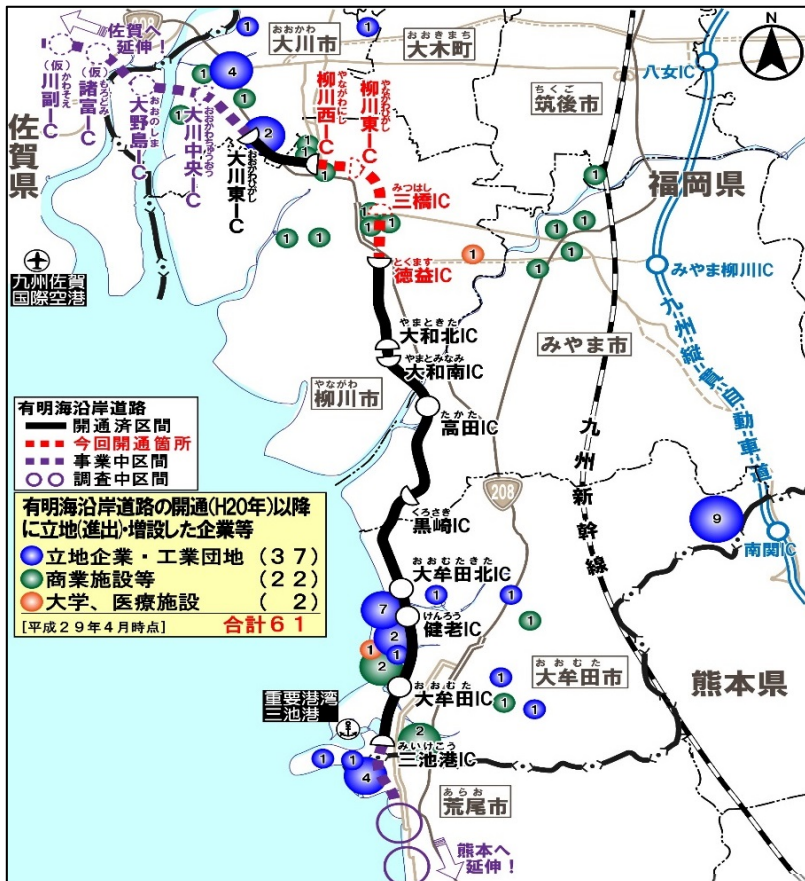
沿線開発が加速



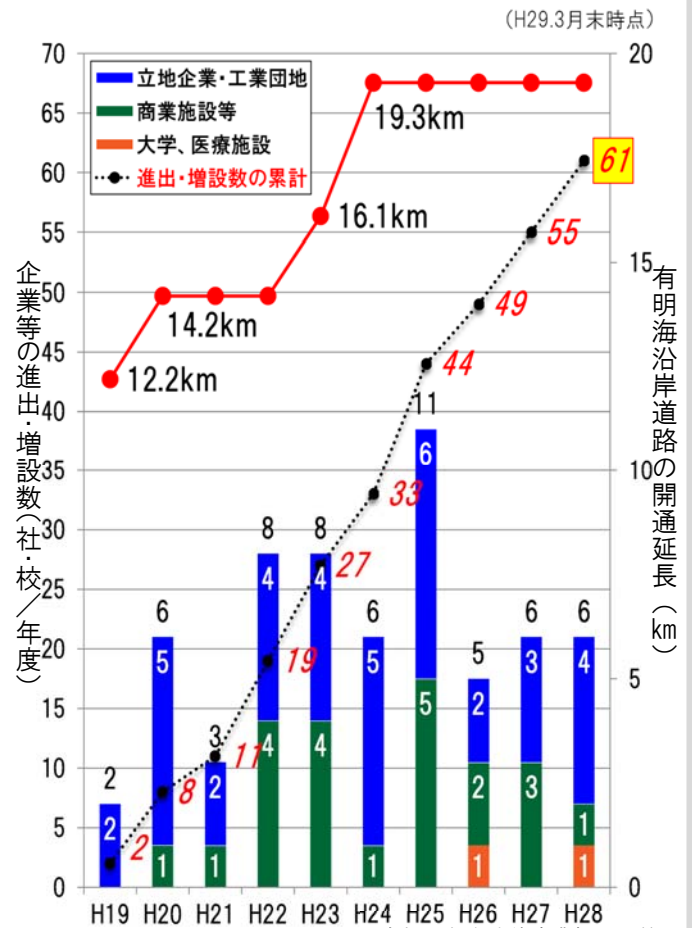
健老ICと大牟田エコタウン

企業、商業施設等が沿線地域に相次ぎ進出

有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセス性も良く、企業、商業施設、大学等計61社が新たに進出・増設しています。



■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況



■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況推移

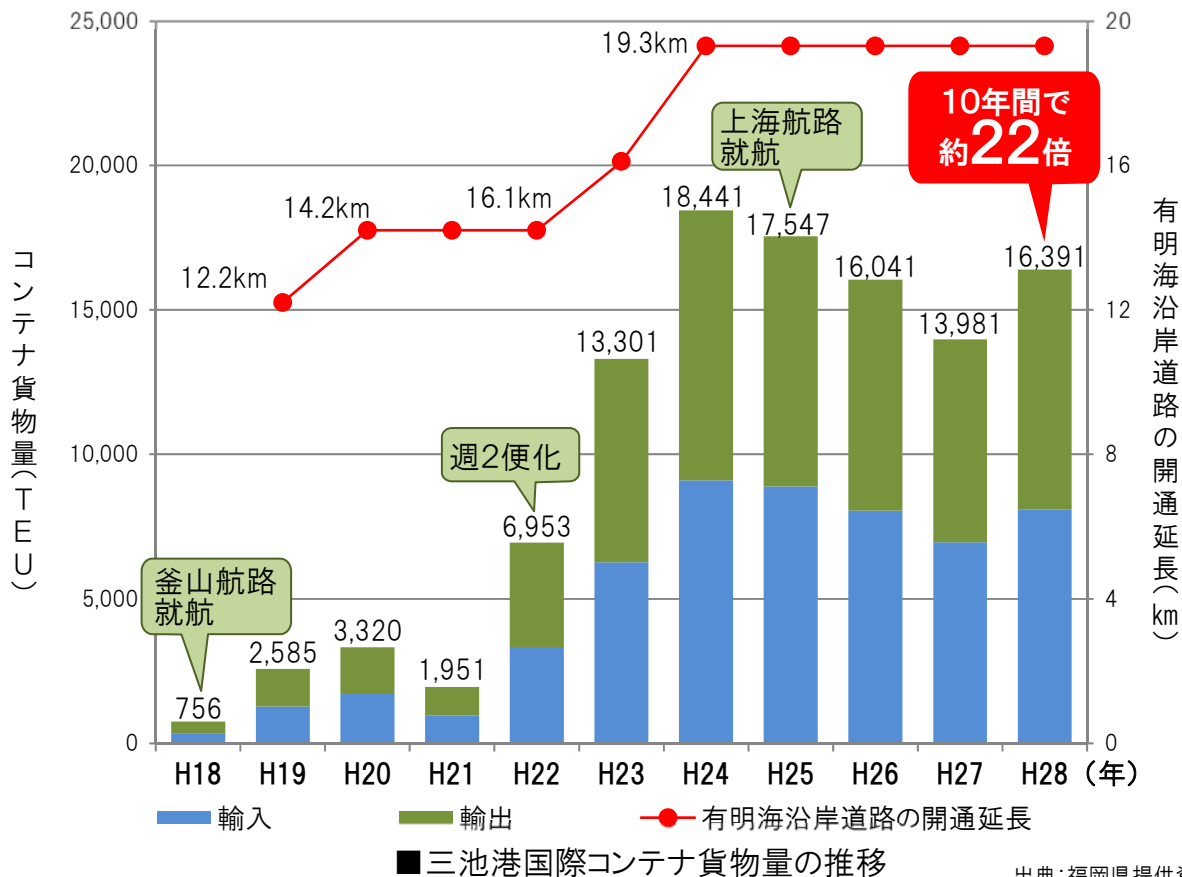
物流の効率化



写真提供：博多港湾・空港整備事務所

三池港との連携強化により、物流を支援

福岡県南部の重要港湾「三池港」との広域物流ネットワークが強化されることで、物流の効率化が図られます。その結果、三池港の国際コンテナの取扱貨物量は、10年間で約22倍までに増えています。



出典：福岡県提供資料

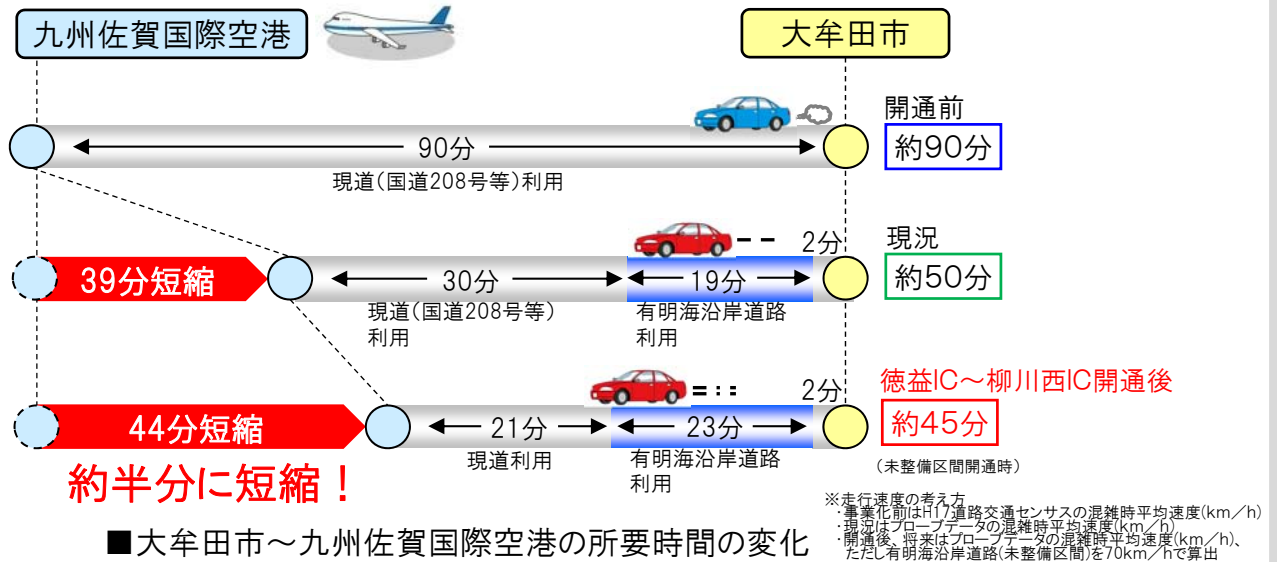
利便性の向上



九州佐賀国際空港

九州佐賀国際空港までの所要時間が短縮

九州佐賀国際空港と大牟田市間の所要時間は、有明海沿岸道路の開通前(国道208号等を利用)では、約90分でした。9月に徳益IC～柳川西ICが開通することにより、所要時間は約半分(約90分→約45分)に短縮されます。



豊かな観光資源を つなぐ



お堀めぐり(柳川市)

有明海沿岸道路開通に伴い観光入込客数増

世界遺産「三池炭鉱」や伝統芸能「宝満神社奉納能楽」等、有明海沿岸道路の沿線地域には、豊かな観光資源が多数存在します。

有明海沿岸道路の開通とともに、観光入込客数は増加しており、現在、沿線地域では、約1,100万人を超える観光客が来訪しています。

お堀めぐり(柳川市)



三重津海軍所跡(佐賀市)



写真：各市・観光協会HP



宝満神社奉納能楽(みやま市)



ウッドワークミュージアム(大川市)



三池炭鉱 宮原坑(大牟田市)

災害時の 緊急輸送路



益城町(2016.5.14)

資料：国土交通省（防災パネル「平成28年度 熊本地震」より抜粋）

熊本地震 九州縦貫道の代替機能を発揮

平成28年熊本地震発災後、九州縦貫道(植木IC以南)が一時通行止めとなり、鳥栖市等の物流施設からの緊急支援物資の供給にあたっては、有明海沿岸道路が代替路として利用されました。



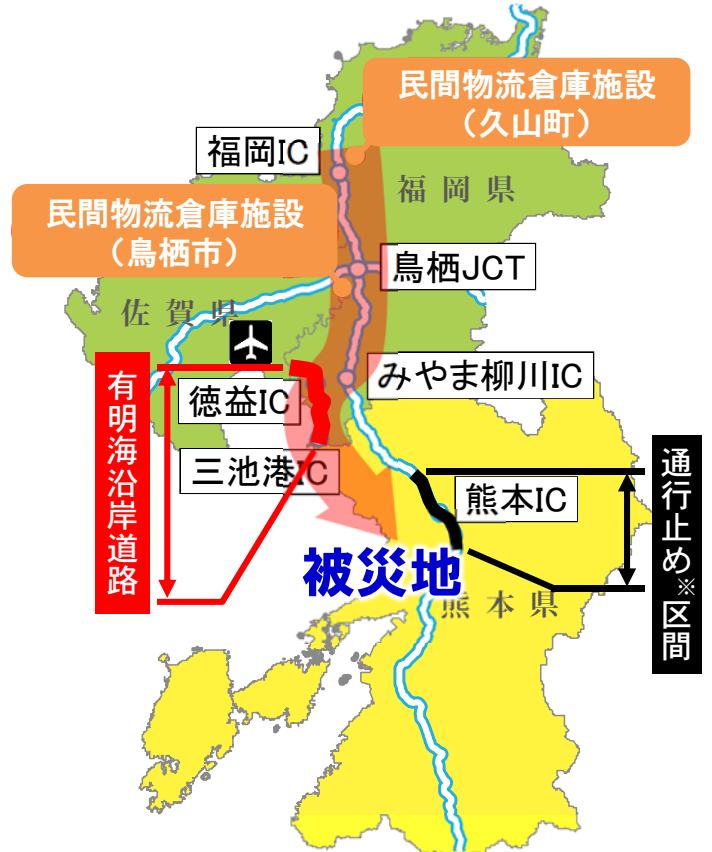
緊急物資輸送車両の活動状況(鳥栖市)

資料：国土交通省（「物資支援に関する補足資料」より抜粋）



九州道の被災状況(益城バスストップ付近)

資料：国土交通省（「記者発表：高速道路の復旧状況について」より抜粋）



通行止め※区間

※ H28. 4. 16~4. 29
通行止め(植木IC~益城熊本空港間)